

不登校の児童生徒への支援
【西本章氏（市民連合）】



市立小中、義務教育学校で2021年度の不登校の児童生徒は、過去10年で

9月15日 中国

最多の計893人だった。個々の要因を探り、しっかりと対応することが大事だ。
三好教育長 調査の結果、要因は無気力や不安が多い。新型コロナウイルス感染拡大を受けた自宅待機で登校意欲が湧かなかつたり、生活が不規則になつたりした状況もある。背景の多様化を踏まえながら、教職員の研修を通し、児童生徒を理解するスキル向上を図る。

議会傍聴者からの感想

(2022年9月14日 福山市議会一般質問)

今日はありがとうございました。初めて議会傍聴をしました。

西本さんがしっかりした口調で、子どもたちに関わる大切な質問をしてくださり心強く思いました。

※子どものいる家庭への離婚前後の支援について

「どんな相談がありますか」の質問はとても良いと思いました。具体例を知る(この会場にいる人 皆)ことで、今後の取り組みをどうするか考える基になると思いました。

市は「〇〇の支援策があります」と言われますが、そこまでに至らない親(家庭)がまだまだ多いと思いました。相談できない親への支援をしっかりと欲しいと思いました。西本さんがその点を力強く話して下さり心強く思いました。

※市立小中学校の不登校の実態について

不登校の子、今日は何をしているのだろう。不登校の子どもに西本さんが心を寄せて下さりとてもうれしかったです。

教育管理部長から一言もその言葉が出なかったことが残念でたまりません。

子どもたちがこんな思いをしている。担任がこんな思いをしている。それを全教職員で共有できる取り組みをしてほしい等など、具体例を出して話して下さい良かった。

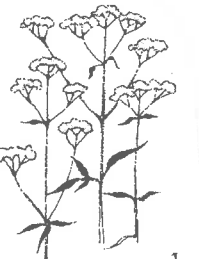
(私事ですが、一緒に住んでいる孫(小3)が不登校でフリースクールとたまに学校に行っているの、西本さんの一言一言があたたかい言葉で届きました。ありがとうございました。)

初めて傍聴させてもらいましたが、西本さんはいつも私たちの生の声を聞いて下さるので、心に届く話が多くありがたく思いました。ありがとうございました。



特集

西本章の夏



今年も平和行事に参加しました。

8月6日の広島平和祈念式典へは一般公募で申し込み参加することができました。終了後、広島被爆者援護会の慰霊祭へ参加、午後には広島基町高校美術部・広島舟入高校演劇部の公演に参加し、被爆ピアノコンサートも短時間ですが聴くことができました。

8月7日は若い人たち(こどもの参加もありました)30人で、福山人権資料館での学習と福山空襲遺跡フィールドワークに参加しました。

8月8日は原爆福山戦災死没者慰霊式へ「のびる文庫」の仲間と参加。夜は、連合広島福山地域協議会の8・8平和の集いへ参加しました。

ウクライナの大変な状況もあります。核戦争の危機が現実味を持って叫ばれています。自分にできる平和へのとりくみを考え行動することが出来ました。